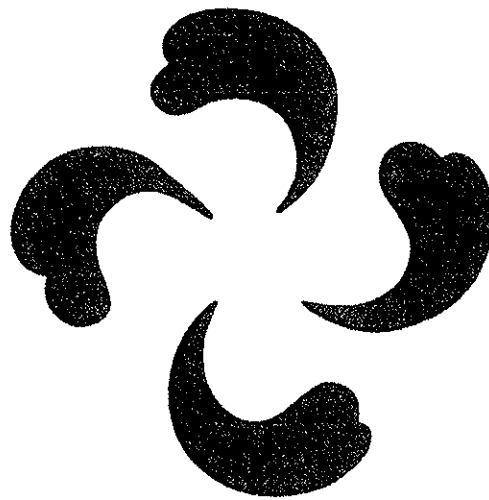


平成 24 年 度

# 事 業 報 告 書



## PALUSIA

### 社会福祉法人カトリック児童福祉会

指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホームパルシア

短期入所生活介護事業所 パルシア

介護予防短期入所生活介護事業 パルシア

通所介護事業所 燕沢デイサービスセンター

介護予防通所介護事業所 燕沢デイサービスセンター

居宅介護支援事業所 燕沢ケアプランセンター

介護予防支援事業所 燕沢地域包括支援センター

仙市委託事業(地域支援事業) 燕沢地域包括支援センター

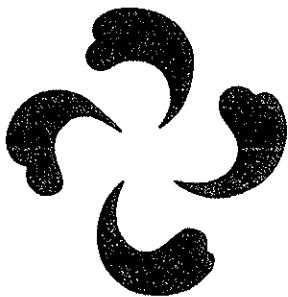
介護予防支援事業所 鶴ヶ谷地域包括支援センター

仙市委託事業(地域支援事業) 鶴ヶ谷地域包括支援センター

仙市委託事業 仙台市障害者・高齢者食の自立支援サービス事業

平成24年度事業報告総括	1
1 旧措置者・新制度入所者入所状況	14
2 要介護度別サービス利用者数	14
3 平成24年度 要介護度別・月別長期入所者数	14
4 利用者負担減免状況	14
5 面会状況	15
6 生保、減免の状況	15
7 月別入退所者数の状況	15
8 平成24年度 性別、年齢及び入所期間別状況	16
9 退所理由	17
10 身体障害者手帳所持状況	17
11 身元引受人	17
12 ADL状況表	18
13 要介護度別利用状況	19
14 処置、通院・諸検査実施件数	20
15 疾患別入所者数	21
16 年間給与栄養状況報告書	22
17 ケアプラン作成スケジュール管理表	23
18 ボランティア活動予定表	29
19 ボランティア受け入れ状況	30
20 来園者数	30
21 行事受入状況	31
22 諸会議開催状況	32
23 平成24年度 実習生受入状況	39
24 平成24年度 事故防止委員会報告書	41
25 平成24年度 行事实行委員会報告	48
26 平成24年度 広報委員会事業報告	49
27 平成24年度 介護力向上委員会報告	50
28 平成24年度 実習指導委員会報告	51
29 平成24年度 リスクマネジメント委員会事業報告	52
30 平成24年度 サービス向上委員会報告書	53
31 平成24年度 食事改善委員会報告書	54
32 消防訓練・地震防災訓練実施状況	55
33 職員研修状況	56
34 平成24年度 部会報告	65
35 平成24年度 燕沢デイサービスセンター事業報告（通所介護）	82
36 平成24年度 燕沢デイサービスセンター事業報告（介護予防通所介護事業）	84
37 平成24年度 パルシア 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業報告	85
38 平成24年度 地域包括支援センター事業報告書	87
39 平成24年度 燕沢ケアプランセンター事業報告書	100
40 平成24年度 仙台市食の自立支援サービス事業実績報告書	101

## シンボルマーク由来



**PALUSIA**

慈愛・博愛・奉仕・介護のまごころが力を合わせ、花の輪となるパルシアをシンボライズ（象徴）したものです。

小松忠雄氏協力  
滝田常晴氏図案

平成13年1月10日決定

## 平成24年度パルシア関連事業総括

### ①平成24年度職員年間目標の達成状況について

目 標 : ISOによる確実な業務実践体制の確立

サブ目標 : 利用者状況とサービス提供体制に合致した手順書の見直し

パルシア関連サービスの提供に当たるすべての職員は、ISOの品質マニュアル及び各種業務手順に精通することが求められています。これを基盤にして、基本方針に掲げている「サービスの品質向上に努め、常に利用者の満足度を高めるケアを提供する」ことを目標に、互いに協力しあい連携して業務実践をしていくことがそれぞれの役割であると考えます。

平成24年度は特にISO認証資格取得後から10年が経過しており、利用者への介護業務や各事業部門ごとの業務の中にISOが浸透してきていることを確認し、確実な業務実践体制を構築していくことを目標としました。サービス提供体制の中にISOが確実に活かされる状況を確認するとともに、利用者状況とサービス提供体制が常に合致した状態を作り、その整合性のある手順書に基づくサービスをしっかりと提供していくことを目指して取り組みました。

利用者に提供するサービスは提供者側の自己満足のサービスではなく、利用者ニーズにしっかりと合致し、また、提供したサービスが利用者の生活をよりよいものに改善していること、そして、サービスの成果を利用者や家族に実感して頂くことが必要です。さらに、サービスの提供には無駄やムラのない効率性も重要です。新任職員が加わるたびにISOの理念を伝え、ISOを基本にした業務実践体制を意識してもらうように研修教育することに努めました。

また、各種のサービス手順書の見直しに各部署が取り組み、現在の利用者の状況に合致したサービス提供に努めました。この目標への取り組みを行ったことにより、効果的・効率的サービスの提供とその向上につながったと言えます。

また、平成24年度は特に東日本大震災の振り返りの年度であったことが特徴的な年でした。施設としての震災前の準備状況と、震災時・震災後にどう対応したか、またどのように変化したかなど、自らの取り組みを振り返るとともに、外部に対して情報発信を多くした年度でした。福祉避難所開設に関して各地の大学や行政関係者からの視察訪問や、各地からの講演依頼への対応など、震災に関する関わりが平成23年度にも増して多く行われました。各地で課題とされている福祉避難所開設について、また、非常時への平常時からの備え、関係機関とのネットワークなど、今後の取り組みを継続していかなければならないと強く実感した年度でした。

### ②施設サービス部門について

平成24年度は例年になく利用者の入退所数が多い年度でした。大震災の影響がまだ残るからか体調を崩す利用者が多く、帰天による退所が相次ぎました。帰天された方が12名、長期入院で退院困難者が2名と、退所者は14名になっています。その中で、施設内帰天者が9名に増え、最期は施設での看取りを希望する利用者やご家族が確実に

増えてきている状況です。

入院者は延べ人数13名、入院日数は227日になっており、平均17.5日でした。平均の入院日数は昨年度より大幅に短縮されていますが、長期間の入院を余儀なくされ、退所に至った利用者が増えており、重度化した利用者の健康管理が非常に難しい現状です。また、利用者の介護度は4.2の平均値で推移しており、昨年度とほぼ同じ状況ですが、要介護5および4の利用者の合計が8割に達し、重度化傾向が続いております。

このような状態から、重度要介護者や認知症利用者の対する介護力向上の取り組みを年間を通して実施して参りました。一部効果が現われてきている利用者もおり、状態像の改善傾向が確実になっています。今後も介護力を向上させて、利用者介護に万全を期していきたいと考えております。

### ③在宅サービス部門について

平成24年度の在宅サービス事業については、どの事業も震災後の定員超過状況が改善して、安定したサービス提供をすることができました。高齢者が安心して地域生活を継続することができるように、また、パルシアが持つ機能を効率的・効果的に利用して頂くことができるように、さらに、在宅事業相互の機能を活かして地域活動を展開いたしました。地域福祉関係者との情報の共有化と関係性をしっかり構築していくことに努力をいたしました。年度を重ねるごとに、連携体制構築は進んできていることを実感しています。

特に平成24年度からは鶴ヶ谷地域包括支援センターを開設し、仙台市の委託を受けて鶴ヶ谷地域の高齢者の総合相談支援の拠点としての機能を期待され、新センターが地域の中に浸透すべく努力が開始された記念の年であると受け止めています。

短期入所事業は95.5%という高い稼働率を年間を通して維持することができました。通所介護事業は制度改正があり、利用者に対してより具体的で効果的な機能訓練サービスの提供が求められたことにより、職員体制を変えて充実したサービス提供に取り組みました。居宅介護事業は、一時的に担当件数の減少がありましたが、年度後半には回復し、より専門性の高いマネジメントを実践することができました。

燕沢地域包括支援センターはネットワーク会議の開催や介護予防教室開催などに積極的に取り組み、センター機能の浸透を図りました。前述した鶴ヶ谷地域包括支援センター開設に伴い、相互に協力して地域関係者との連携を深め、高齢者の地域生活の支援に努めた年度となりました。

### ③職員の状況について

鶴ヶ谷地域包括支援センター開設に伴う主任クラスの異動で職員体制の変更がありましたが、業務の引き継ぎが適切に行われ、また、各職員の努力により大きな支障がなくサービス提供ができたことは大変幸いでした。

また、何度中途の退職に伴い職員の異動や採用を行いました。適切な人材を確保できず採用困難な状況がありました。職員補充の困難性については社会的にも今後の大きな課題であると受け止めています。

職員研修は施設内研修をきめ細かに実施したこと、また、外部研修にも積極的に派遣してスキルアップを図ったことなど、効果的な研修教育ができた年度でした。

パルシア関連事業

職員年間目標の推移

年 度	職員年間目標・サブ目標
平成 10 年度	
平成 11 年度	3つの自 ～自主性、自己責任、自己チェック～
平成 12 年度	利用者の満足度を高めるケア ～8大権利の行使～
平成 13 年度	利用者の満足度を高めるケア ～サービスの品質保証を目指して～
平成 14 年度	利用者の満足度を高めるケア ～ISO9001 認証資格取得～
平成 15 年度	品質マネジメントをベースにしたサービス実践 ～品質マニュアル・手順書に基づく実践と是正・予防処置の徹底～
平成 16 年度	ISO による継続的改善の実行 ～各種サービスプロセスを適切に管理し実践しよう～
平成 17 年度	ISO による継続的改善の実行 ～職員個々の専門性の高揚と信頼に応える知識・技術の習得～
平成 18 年度	ISO 理解と効果的運用によるサービス改善 ～チームケアの意識化と良質なサービスの安定提供～
平成 19 年度	ISO を学ぶ・生かす組織作りと情報の共有化 ～個々の力量を伸ばす努力とパルシア組織としての一致団結～
平成 20 年度	ISO 活用で利用者に安心と信頼のサービス提供を ～職員個々の成長とパルシア事業の組織としての成長を目指す～
平成 21 年度	ISO 活用で高品質サービスの実現を ～職員各自の専門性向上の取り組みと一体的事業運営の意識化～
平成 22 年度	ISO 活用で安心と信頼のサービス構築を ～ホスピタリティの心とコミュニケーションの意識化～
平成 23 年度	ISO による効果的・効率的サービス構築 ～サービス最前線のレベルアップとバックアップ～
平成 24 年度	ISO 活用による確実な業務実践体制の確立 ～利用者状況とサービス提供体制に合致した手順書の見直し～
平成 25 年度	ISO を業務の基盤に位置づけたサービスの有効性追求 ～利用者の満足度向上を目指した確実なサービス提供～